



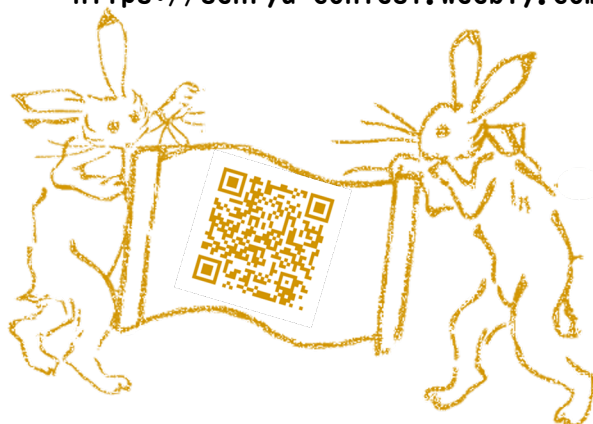
研究や勉強の進み具合に対して葛藤はありませんか？
それを川柳に託して、力を入れなおしましょう。
「文系・理系仲良く」は今年のポイントです！
We invite you to get read of academic stress by
pouring it into a humorous poem.
Highlighted topic for this year
is interdisciplinary collaboration.



第三回 名古屋大学多文化共生川柳コンテスト

Nagoya University Intercultural Human Haiku Contest 2022

- 応募締切：
Deadline: 2023年1月23日
January 23, 2023
- 応募資格：
Eligibility: 誰でも応募可能
Everyone is welcome to apply
- 応募枠：
Application Category: 個人枠、留学生枠、リレー枠
Individual, international student, collaborative
- テーマ：
Topics: 2022年の感想、2023年への抱負、
研究/勉強：「文系vs.理系」の不毛な対立、その他
Memories of 2022 / New Year's resolutions 2023 /
Science vs. Humanities: a misguided debate / Free topic
- 応募方法：
Application 以下のリンクからオンライン応募
<https://forms.office.com/r/7WxAHSympA>
- 大会HP：
<https://senryu-contest.weebly.com>



共催：名古屋大学文学部国際化推進室、名古屋大学工学部国際交流室
協力：吉林大学外国語学院、大連理工大学国際協力交流処



理念

気持ちを川柳に託して、一年分の葛藤を笑いで吹っ飛ばそう

Laugh a year's worth of stress away with the healing power of humor poetry



皆さんにとって2022年はどんな年だったでしょうか。

新型コロナウイルスのパンデミックによる行動制限が緩和され、日常に戻りつつあるあると思いきや、世界情勢に大騒動が起
こり、ますます「多文化共生」の重要性について気づかされます。皆さんの学生生活はいかがでしょう。勉強や研究は思い
通りに進んでいますか。思い存分旅行はできましたか。新しい友達を作ったり、親友と仲良く遊んだり、できましたか。

この一年間の思い出、来年への期待、皆と分かち合いたい気持ち等を17字の句に託すのはいかがでしょう。

また、リレー枠で友達や知らない人とコラボレーションして、思いがけない傑作を作ってみませんか。

Was 2022 a remarkable year for you? What will you remember 2022 for?

Our Human Haiku Contest started in 2020 under the COVID-19 pandemic. Though, 2022 turned out to be challenging as well
and Japan even chose the kanji “sen” (戦), meaning war, battle or match as the symbol for 2022.

However, universities are returning on-campus and we have more and more opportunities to experience Japan first-hand. Did
you enjoy your life and study in Japan? Did you find your study or research progress fulfilling? Did you manage to find new
friends and bond with old ones?

If you have any regrets or resentment, pour them into a short 17-syllabi humorous poem and leave here. If you have joyfull
memories and fascinating experiences, write a poem to commemorate them.

We invite you to compose a poem by yourself or collaborate with others via our online platform. Let's have some fun!

応募枠

個人枠 or 留学生個人枠
Individual / International student



一人で詠む

一人で五・七・五の川柳もしくは俳句を完成させ、
自分の感情やユーモアをみんなに伝える。

Compose a 17-syllabel poem all by yourself and express
your feelings and your sense of humor.

* 留学生個人枠は日本語を母語としない方限定
"International student" category is for non-native speakers of Japanese only.

リレー枠
Collaboration



皆んなで詠む

最初の5文字だけ書いたり、他人の作った冒頭部に七・五
を付け加えたり、チームワークで面白い文章を作る。

Compose the first line or link the next line/lines in
succession. Enjoy the teamwork and a unique verse as
the result.

応募資格

日本語／サバイバルジャパニーズ／英語で五・七・五の川柳もしくは俳句が作れる方であれば、
留学生、名大生、卒業生、教職員、一般の方、どなたでも応募いただけます。

We welcome Nagoya University students, international students, staff, alumni, and anyone else who is capable of composing a three line
"human haiku" poem in Japanese, survival Japanese or English.

テーマ (Topic)

* 名大省エネ特別企画“カラダとこころが温まる Warm up your body and soul”

・ 2022年の思い出 My memories of 2022

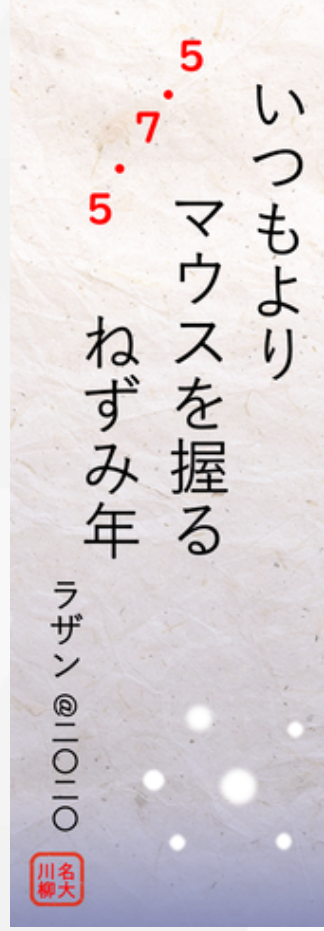
・ 2023年への抱負 My goals for 2023

・ フリーテーマ Free topic

大会規定／Contest Rules

- ・ 応募資格：どなたでも応募可能
- ・ 応募枠：個人、留学生個人、リレー。複数の枠での応募を可とする。一人につき、10首まで応募を認める。
- ・ 応募方法：本ホームページよりオンライン応募
- ・ 応募締め切り：2023年1月23日(月)
- ・ 審査方法：名古屋大学の教職員が作品の審査を行い、個人およびリレーそれぞれの優勝作を定める。個人枠では、優勝作品のほか、準優勝に当たる特別賞、日本語を母語としない参加者の間から、名古屋大学協定校の在籍生の間から、英語による作品の間からそれぞれ特別賞を定める。
- ・ 投稿作品の公開：全作品がホームページで公表される
- ・ 優勝者に対して表彰状および記念品が贈呈される
- ・ Eligibility: Everyone is welcome to apply Application categories: Individual, International student individual, Collaboration. Feel free to apply in multiple categories. We accept up to 10 poems from the same participant.
- ・ Application is available from "Apply" page of from the button below.
- ・ Deadline: January 23, 2023
- ・ Winners to be decided by a committee of Nagoya University faculty and staff. Winners are to be selected in Individual and Collaboration categories separately. In the Individual category, apart from the winner, special prizes will be awarded from hosting departments. Also, the best works by a non-native speaker of Japanese, by an NU partner university student, the best work in English will be rewarded.

- ・ All the participating works will be displayed on the contest webpage.
- ・ The winners will be awarded with honorable certificates and memorable gifts.



応募する／Apply

共催：名古屋大学文学部国際化推進室、名古屋大学工学部国際交流室

協力：吉林大学外国語学院、大連理工大学国際協力交流処

Hosted by NU School of Humanities International Office & NU School of Engineering International Academic Exchange Office

In cooperation with Jinlin University College of Foreign Languages, Dalian University of Technology International Office

問い合わせ/Contact us：senryunagoya@gmail.com

第一回 名古屋大学多文化共生川柳コンテスト

入賞作品公表

[Home](#)[About human haiku](#)[Apply](#)[Submitted works](#)[Contact us](#)

2021年度 受賞作品

名古屋大学等の教員10名から構成された審査委員会による厳選の結果、下記の8句の受賞が決定。

詠み手に対してお祝いを申し上げますとともに、参加者の皆様に心より御礼を申し上げます。また来年度の参加も心待ちにしております。

最優秀賞

今年こそ みんなで会食 行きタイガー

詠み手：Mきの

作品のストーリー：寅年である今年は、みんなで気兼ねなく会食に行けるようになるといいですね。きっと寅のようにいっぱい飲み食いするんだろうなあ...

工学部国際交流室特別賞

Go to, stay, eat わしゃ犬か

詠み手：しげ翁

作品のストーリー：Go to トラベル、stay ホーム、go to eatと国民への政府の呼びかけが2転3転しましたことを川柳にしてみました

人文学部国際化推進室特別賞

カメラオフ 布団で受ける ZOOM授業

詠み手：レモン

教育交流部門特別賞 (留学生による作品)

朝五時に 窓を泣かせる 雪の華

詠み手：碗ちゃん

作品のストーリー：朝のアルバイトをしているので、いつも五時か六時くらい起きる。2021年の最後の日、朝の五時は雪が降った。窓につけるきれいな雪はすぐに溶けて、窓の涙になったみたいだった。夜明け前に起きて仕事に行く私は窓の涙を見たら、突然に寂しくなった。もし雪が自分の顔で溶けたら、窓のように泣いてしまうと感じた。

個人枠・留学生個人枠入賞 4作品

二年分 想いを込める 演奏会

詠み手：五目ごはん

作品のストーリー：昨年はコロナの影響で開催できなかったサークルの定期演奏会。今年は観客の人数を制限しながらも、なんとか開催することができました。

ちょっと嫌 学籍番号 567

詠み手：豊田幸三

作品のストーリー：567という数字がコロナの隠語として使われるようになってきているので、学籍番号に567が入っていたらちょっと気になるなと思ったからです。

デパ地下は 自粛しらずの 別世界

詠み手：やっとかめーだい

作品のストーリー：デパ地下は、まん延防止が始まって朝から混雑。そこにいる自分に苦笑しつつ詠みました。

New calendar recycling old agenda

詠み手：Christopher Calvin

作品のストーリー：This work highlights the humor in regards to resolutions of new year that are mostly byproducts of recycled or reused previous year's resolutions. Ironically, we can altogether laugh at ourselves upon reading this work then simply approve of the fact that we usually rename unresolved goals with new titles as to make ourselves feel better.

入賞作品公表

[Home](#)

[About human haiku](#)

[Apply](#)

[Submitted works](#)

[Contact us](#)

2020年度 受賞作品

優秀賞 3 作品（個人枠・留学生個人枠）

意外だな 初めて知った 鼻と口

詠み手：あやたか

作品のストーリー：大学生活が始まって何人が友達ができた。しかし、普段はマスクをつけているため鼻と口を見たことのない同級生が多い。そんな同級生のマスクを外した姿を初めて見たときの、想像と違ったという気持ちを川柳にしました。

いつもより マウスを握る ねずみ年

詠み手：ラザン

作品のストーリー：オンライン授業、飲み、面接などパソコンの前にいることが例年よりも多かった事を川柳にしました。コロナ自粛が明けて久々に大学の友人達に屋外で面と向かって会ったときの情景です。「日差し降り」と「久しぶり」を掛けました。

隔離中 窓を閉めれば 部屋ライブ （留学生個人枠）

詠み手：Kemizunomi

作品のストーリー：日本に入国して、部屋で隔離生活を送っている中、不安になったり落ち込んだりすることもあった。気分を和らげるために歌を歌ったり、友達とオンラインライブをした。山手寮は遮音がしっかりしてて、窓を閉めれば大きな声で歌っても隣の方の迷惑にはならないので（検証済み）、気楽に歌える。おかげさまで、二週間快適に過ごしてきた。

教育交流部門特別賞 1 作品

五分钟前 飛び起き繋ぐ Zoom授業

詠み手：岡部雅之

人文学部国際化推進室特別賞 1 作品

デートまえ マスク選びに 時間かけ

詠み手：やっとかめえだい

作品のストーリー：店先で、かわいいマスクを無心に探す女性たちの姿が、ほほえましい(^_^)。そんな光景がよく見られ、ひねってみました。

工学部国際交流室特別賞 1 作品

給付金 親の財布へ Go Toし

詠み手：ペンギンですよ

作品のストーリー：悲しかったです。

個人枠・留学生個人枠入賞 4 作品

マスク客 咳ひとつで 席を立ち

詠み手：やっとかめえだい

作品のストーリー：‘3蜜に神経とがらす通勤電車、咳ひとつにそっと目配り’ コロナ禍の終息を思って読んでみました。

自粛明け 君の笑顔に ひさしふり

詠み手：ラザン

作品のストーリー：コロナ自粛が明けて久々に大学の友人達に屋外で面と向かって会ったときの情景です。「日差し降り」と「久しぶり」を掛けました。

冬のゼミ、暖房代わり、寒い風

詠み手：さようなら、地球温暖化

作品のストーリー：During lab seminar, the windows are open to avoid Covid-19 infection. So it is really cold in the room.

「マスクして」耳に本当の タコできる

詠み手：Mきの

作品のストーリー：今やどこへ行くにもマスクをするのが当たり前になりました。マスクをして感染拡大防止を心がけようと耳にタコができるほど聞いた結果、マスクの着けすぎで耳の後ろが痛くなって本当にタコができそうだという皮肉を表現しました。

リレー枠入賞 2 作品

小池知事 スーツ姿に 戻るよう

詠み手：とよた

奇数年 東京五輪 かなうかな

詠み手：てばもと